

福島第一原子力発電所 土壤中のPu分析結果

1. 測定結果：

(データ集約: 11/19)
(単位: Bq/kg・乾土)

採取場所 ()は1,2号機スタックからの距離	採取日	Pu-238	Pu-239+240
グラウンド(西北西約500m) ¹	2015年7月13日	$(2.2 \pm 0.59) \times 10^{-2}$	N.D. [1.5×10^{-2}]
野鳥の森(西約500m) ¹		$(2.7 \pm 0.58) \times 10^{-2}$	$(1.3 \pm 0.13) \times 10^{-1}$
産廃処分場近傍(南南西約500m) ¹	採取中止 ³	-	-
国内の土壤(昭和53年~平成20年) ²		N.D. $\sim 1.5 \times 10^{-1}$	N.D. ~ 4.5

[]内は検出限界値を示す

- 1: 過去のサンプリングが重ならないよう隣接地を採取。
- 2: 出典「環境放射線データベース」(文部科学省)
- 3: フェーシングにより採取出来ず。

2. 分析機関: 株式会社 化研

3. 評価:

2015年7月13日に検出されたPu-238とPu-239+240の濃度は、過去の大気圏内核実験において国内で観測されたフォールアウトと同様なレベルである。しかし、これまでの結果から、今回の事故に由来する可能性が考えられる。

以上